

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (20) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr		
2025 年 5 月 17 日 週間祈りカード		
△産業宣教/金土日時代のやぐら 16 女性産業人(使 18:1-4)	△ART と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 16 世界を変えるレムナントの時の準備(イザ 6:13)	△核心/幼児・幼稚園宣教局 子ども宣教局 永遠のことの始まり(使 19:8)
□序論_祈っても答えられない場合 1. 創 37:1-11(ヨセフの兄たち) 弟が総理となったとき、食べさせてもらって生きて死んだ。 2. 出 3:1-10 イスラエルの民が「奴隷であるのが良い」と恨んで荒野で皆死んだ。 3. 士 21:25 士師時代の人々が自分の目に良いことを行って生きた。 4. I サム 18:6-9 ダビデが戦争で勝利したとき、女たちがダビデを歓呼した。サウル王はそれに心を痛めて、一生ダビデを困らせた。ペリシテとの戦争で剣の上に倒れ込んで自殺する。 5. II 列 2:1-11 エリヤが天国に召される時間に多くの預言者の仲間がギルガル、エリコ、ベテルに関心があった。 6. 使 11:1-18 ペテロがコルネリウスの家に行って食事してきたとき、伝統と律法を見たのだ。神様は燭台を移してしまわれた。 7. ガラ 2:10-20 異邦人の地域でユダヤ人がユダヤ人の法を守らなければならないと話したとき、パウロがガラ 2:20 を語った。 □本論_霊的な目を先にあけて 時代の流れとみことばの流れを見てこそ正確な契約を握ることができる。 1. 出 2:1-10 ヨケベデ 1) 絶対不可能 ファラオが「ヘブル人の男の子が生まれれば殺せ」王の命令なので変えることができない。 2) 絶対計画 今エジプトから出て行くことが神様の絶対計画であるのを見た。 3) 絶対可能が見えた モーセを王宮に送ること。モーセがエジプトを打ってイスラエルを解放させる。 2. ヨシ 2:1-16 ラハブ 1) うわさ(みことば) だけ聞いても契約を悟り 2) 世の中を見る目 今までであったことのゆえに、そこにいる人々が全部みな恐怖に襲われていると話した。 3) 危険なことを試み これが永遠の機会であった。偵察しに来た人を隠した。ラハブが結婚したが 4 代まで行ってダビデが生まれる。 3. I サム 1:9-11 ハンナの祈り 肉的な祈りをささげていたが、ある日、ナジル人の契約を悟る。教会、国家、世界を生かす。 4. 使 1:1-14 オリーブ山のミッション 契約を握った人が集まるように家を提供したマルコの母親。そこで初代教会が始まった。 5. 使 16:15、18:1-4 リディアとブリスカ ブリスカはパウロとともに会堂に入り、リディアはピリピを生かす教会を作った。 □結論_答え この(序論、本論)契約を持って答えを見つけに行きなさい。すると神様がみな成し遂げられる。	レムナントの時に準備されたことは 世界を変える。 □序論_見張り人 レムナントに先に刻印されなければならないことが見張り人だ。見張り人が何か分かれば世界を動かす。キリストがくださった<u>やぐら</u>を作るということは、祈りが何か、力が何かを知るようになったことだ。<u>旅程</u>は伝道を悟ったことだが、道が見えることだ。<u>道しるべ</u>ということとは、多くのみことばが成就することだが、記念碑を建てる本物の成功が出てくる。 □本論 1. 創 37:1-11 ヨセフが幼い時すでに持っていた。普段に完成されて、危機の時さらに多くなる。 2. 出 2:1-10 幼い時モーセが契約をみな握ったのだ。ある日、必ず世界を変える。 △それゆえ、幼児・幼稚、子ども教育が重要なのだ。力が先に刻印されるか、傷が先に刻印されるかだ。 3. I サム 3:1-10 幼い時、契約が刻印されて、祈って神様の答えを受けた。 4. 詩 78:70-72 このとき、賛美、祈り、みことばみな出て来た。羊飼いだったが、神様は王として育てた。 5. II 列 2:9-11 幼い時から契約を持っていたエリシャはエリヤと別れる時もこの契約を話した。 6. ダニ 1:8-9 イザヤ預言者の預言を理解して契約として握ったダニエルは、捕虜になって行ってバビロンを完全に変えた。 7. 使 17:1、18:4、19:8 イスラエルがなくなるので、パウロは会堂に行った。この人々が世界福音化を成し遂げたのだ。 □結論_未来 未来を探しに私たちは行くのだ。今あるすべての生活はキャンプで、証拠だ。私たちが受けている苦難のゆえに、その証拠でサタンが縛られるのだ。	重職者-どのように私が伝道、宣教を実践するのか。一つは、しなさい。新しい家族-私のために家系が完全に変わる契約を握りなさい。信徒と重職者-みことばの流れに乗りなさい。 □序論_正確な契約を次世代に伝達(教会の使命) - <u>7・7・7</u> 1. 次世代(力、幸せ) -祈ることが本当に力になって幸せならば、やぐらが作られたのだ。これが次世代に伝えられなければならない。 2. 次世代を時代の見張り人として立てること(聖書の約束、イエス様がオリーブ山で完成されたこと) 1) 福音の力でやぐらを建てれば御座の祝福が見える。 2) 伝道、宣教の旅程を教えるとき、道が見える。 3) 教会と現場復興させる道しるべを建てればレムナントが行く道に記念碑が建てられる。 3. 刻印(親)、根(教会教師)、体質(生活を通して) □本論_証拠-福音がなくなるたびに福音を持っている次世代(レムナント)を立てて世界を変えられた 1. エジプト時代-ヨセフとヨケベデがこの契約を握って祈り始め、モーセにこの契約伝達 2. ペリシテ時代-ハンナの祈りで生まれたサムエル、サムエルが立てた次世代であるダビデ 3. アッシリア、アラム時代-ヒゼキヤ王のいのちをかけた祈りで主の使いがアッシリア軍 18 万 5 千を打った事件、アラムの国にひっかかったとき、戦わずに勝ったエリシャ 4. バビロン時代-ダニエル、三人の青年、エステル、ゼルバベル、ハガイ、ネヘミヤ。福音を伝えて帰って来たのだ。伝道、宣教が分からなければ皆さんの次世代は奴隷として行く。福音を伝えに行かなければならない。 5. ローマ、流浪の民時代-この答えを持っている人が行って世界福音化した □結論_実践 <u>5つの流れ</u>確認-証人 私はどれくらいみことば成就の中にいるのか。私はどんな祈りの中にいるのか。全体メッセージを聞けば伝道の流れと私がいる現場の霊の流れを把握しなさい。一つの国は 24 すなわち、流れを知るべきだ。すると、皆さんは 3 つの庭、金土日時代、黙想時代の証人になる。 核心で一週間を総整理して、明日は流れに乗って新しく始めるのだ。すると時空を超越する空前絶後の答えが与えられる。 △牧師、牧師夫人- 40 日祈りを始めなさい。絶対やぐら・旅程・道しるべ(伝道する地教会)を建てなさい。300%準備しなさい(メッセージと行く人準備、現場準備、持続する人と弟子準備)。完全に伝道だけする地教会、聖霊に導かれる地教会、聖霊の働きを待つ地教会、聖霊に満たされた実を結ぶ地教会が神様が願われることだ。

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (20) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr		
2025 年 5 月 18 日 週間祈りカード		
△区域メッセージ第 20 週/2 部：私とレムナントに刻印させること 時代の唯一の働き(出 2:1-10)	△聖日 1 部 変わらないみことば - 変わらない弟子(ヨシ 14:6-15)	△聖日 2 部/神殿建築礼拝 命を担保にした人々(ハガ 2:1-9)
出 2:1-10 はとても苦しみを受けている時期であった。モーセを王宮に送る前にあったことだ。 □序論 1. 苦難-落胆-このとき、モーセ母親がしたことだ。 1) サタン 12 のやぐら-今いくら力がなくても神様のやぐらを作れば必ずこの働きは起こる。先に御座の祝福、霊的状态が作られることが答えた。 2) マタ 12:26-30、43-45 サタンが家を作って、努力すればするほどより多くの悪霊が集まる。 3) II コリ 10:4-5 大きい要塞が作られる。 4) エベ 4:27 怒って紛争してはならない。悪魔が機会として利用する。 2. 神様のやぐら-紛争が多い家には必ずわざわいが来る。それゆえ、私たちはどんなに難しくても、ヨケベデのように神様のやぐらを作らなければならない。 1) やぐら、旅程、道しるべを作るのだ。 2) プラットフォーム、見張り台、アンテナ-プラットフォームが作られると人々が帰ってくるようになる。落胆せずに祈りで神様のやぐらを作りなさい。 3) 3 集中、3 セットティング、3 答えがくる。 □本論 1. 働き人癒やし(レビ) -血のいけにえ-ハンナとモーセの母親ヨケベデは完全に働き人だった。レビの男がレビの女を妻としてめとって産まれた息子がモーセだ。レビという言葉は、血のいけにえをささげる人だ。 1) 根源-根源癒やしがなされなければならない。 2) 霊的な癒やしが起こる。 3) 生活が癒やされる。 2. 親 1) 家系を癒やす。 2) 夫婦を癒やす働きが起こる。 3) 伝達-この祝福がレムナントに伝えられるのだ。 3. RT -特に胎児、乳児、幼児、幼稚、子どもに伝えられる。 1) 福音刻印-福音が刻印されれば祈りが安らかになる。 2) みことば根-みことばに根をおろすようになる。 3) 祈り体質-祈ることが一番幸せならば、もうやぐらが建ったのだ。 △今日、日曜に礼拝する時間がとても貴重な時間だ。それゆえ、いまはより大きな信仰で、みことばが宣言されたことはすでに成就したのだ。私たちがしきりに不信仰、困難が来ればサタンのやぐらが作られる。それで家で争って、教会の中でずっと紛争する人々を超えなさい。ヨケベデ 1 人が血の契約を握ったが根本が癒やされて、家系、次世代の癒やしが起きた。この祝福を最もよく味わったのが初代教会で、パウロだ。 □結論 世界福音化 私たちは力がないが、必ず世界福音化は成し遂げられる。私たちが世界福音化する人に間違いないならば、私たちの行く所に神様はすべてのことを準備される。	※先にすること-個人に神様の空前絶後の答えと祝福があるという事実を発見すべきだ。 □序論 1. みことばと神様の力を見た人 絶対不可能だが神様の絶対計画では可能だということを見たのだ。 2. 霊的答えが先に来なければならないということを知っている人 1) 主がともにおられることが答えであることを分かった-三つの祭り 2) 契約の後に神の国と神の国のことが答えとして来るのを見た。 ※神様が私を呼ばれた空前絶後の理由を質問しなさい。 (1) レムナント-人生を始めるのに空前絶後の神様の計画は何か (2) 重職者-残りの人生に神様が私に与えられた空前絶後の計画は何か (3) 新しい家族-すぐ慣れば働きが起こり始める。 □本論 1. 確認すること-確実なみことば成就を証拠として握った(神様の契約確認) 1) 過去の契約を握った(6 節)。「神の人モーセが私たちが行くと言われたみことばをよく知っているだろう」 2) 今日の契約を握った(7~11 節)。「私がここに今入って来ている。今、私の年齢が 85 歳だが、まだ健康も壮健だ。」 3) 未来の契約まで捕らえた(12 節)。「私の年は 85 歳だが、主が私とともにいてくだされば、主が約束されたように、私は彼らを追い払うことができます。私を送ってください。」 2. だまされないこと(神様の絶対計画を見る時) 1) サタンの現実を見た。ほかの人は恐れたがカレブは巨人の要塞を見てサタンの現実を見たのだ。 2) 私たちのいのちと未来が神様の主権の中にあることを見た。 3) 恐れおののいている現場を見た。-サタンのアイデンティティ △確実な契約を持って行けば暗闇は縛られて恐れるようになっていくが、私たちがかえって恐れて行けないと言うのだ。それゆえ、絶対計画を持って行かなければならない。 3. 確信すること-確実な未来 1) 出エジプト-出暗闇 2) 荒野を通り過ぎること-苦難でなく証拠 3) カナンに入ること-神様の絶対未来(世界福音化) ※落胆せずに最後に残された空前絶後の契約を握りなさい。 □結論 レムナントは世界宣教するほど、答えを受けなさい。3 つの庭を作って全世界を生かすほど答えを受けようとするなら、皆さんにだけ与えられた空前絶後を見つけ出さなければならない。	聖書には祭司、預言者、王がいた。それでは解決しないと神様が真の王、預言者、祭司を送ると約束された。「キリスト」だ。ここで三位一体の神様の働きが目に見えないように起こる。御座の力で先に働かれる。「神の国」という答えが来始める。目に見える答えはこの時から起こる。神の国のこと。このことをいつも祈ることが信仰生活だ。この祝福を味わう(24)、待つ(25)、挑戦(永遠 万民、地の果てに行け)ということだ。すると、時空超越(237、5000)の答えが与えられる。確認することは、私にだけ与えられる答えである空前絶後だ。当然、必然、絶対を見つければ簡単に見える。すると、命をかける価値を発見するようになる。福音でなければ絶対にだめだ。 「命を担保にした人々」-命をかける価値を発見したこと □序論 聖書で重要な単語 1. 残りの者-イザ 6:13、イザ 10:20-23、ゼカ 8:12 2. 旅人-ピリ 3:20、ヘブ 11:13 国籍が天にある者 3. 散らされた者-強大国に行った。彼らに神殿再建を命令された。 △時空超越する御座のやぐら、旅程、道しるべを確実にさせて、ミッションを見つけ出すのだ(40 日)。教役者は 40 日集中して伝道する地教会を作りなさい。ただ、唯一性、再創造のシステムになる空前絶後の答えがみことばにしたがい起こるようになる(使 2:42)。するとみことばが成就して命をかける価値を知るようになる(使 2:46-47)。本当の世界福音化の答えはこのときから始まる。この契約を握るサミットタイムを持ちなさい。 □本論 1. バビロン-命を担保にした人々 証拠 1) 三人の青年 2) ダニエル 3) エステル 2. 命を担保にする人-最後の機会 1) ハガイにみことばが臨んだ。 2) ヨシュアに話せ。 3) 残りの民に伝達しなさい(2 節) 4) ゼルバベルに強くあれと話しなさい。 5) ヨシュアに話しなさい 3. 伝達する人-次世代に全世界の霊的わざわいを止めることを残しておいて行くべき 1) 以前の神殿を見た者がいるか 2) エジプトでわたしの霊がともにいたように、霊はあなたがたの間にとどまっているから、恐れるな(5 節)。 3) 天、地、海、陸、国々を揺り動かす □結論 1. 万軍の主のことば 2. 後の栄光が以前の栄光より大きい 3. 理由-暗闇を止める 3 つの庭、次世代を生かす金土日、世界を癒やす黙想時代 創 13:18(アブラハム)、RT7、初代教会、パウロ、ロマ 16 章の人々が命をかける価値を発見した。霊肉ともに力を受けることを今、回復しなさい。